

実証申請書

申請者は以下の申請書を提出する。特に*のついた欄は実証対象技術の選定において重要な情報であるため、必ず記入すること。

【申請者】

企業名*		印
住所*	〒	
担当者所属・氏名*		
連絡先*	TEL :	FAX :
	e-mail :	
技術・製品の名称*		

1. 技術の概要

機器構成と処理フロー図*
原理*
特徴・長所・セールスポイント

2. 自社試験結果

測定責任者*	印
測定年月日*	平成 年 月 日

水質・水量関連*

水量、流入水質、処理水質についての測定結果を提示すること。特に実証試験実施場所での実績が望ましい。詳細な試験結果が提出可能であれば、本欄には「別紙で提出」と記載し、別紙で提出すること。

環境影響及び使用資源関連*

項目	単位	測定値等
発生汚泥量	kg / 日	
廃棄物発生量	kg / 日	
悪臭・騒音の発生可能性		
電力等消費量	kWh / 日	
()	kg / 日	
排水処理薬品使用量*()	kg / 日	
括弧内は薬品名 ()	kg / 日	
()	kg / 日	
微生物製剤等使用量 ()	kg / 日	
括弧内は消耗品名 ()	kg / 日	
()	kg / 日	
その他消耗品使用量 ()	kg / 日	
括弧内は消耗品名 ()	kg / 日	

運転及び維持管理関連*

管理項目 「排水処理薬品の補充」 「汚泥・廃棄物処理」 「定期点検」等を記入	一回あたりの 管理時間	管理頻度 月・週・日のいずれかに 括弧内に回数を記入
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回

3. 製品データ（実証試験実施場所に設置される機器について記載すること）

項目		記入欄				
実証対象機器名*						
型番						
製造企業名*						
連絡先*	TEL	()	-			
	Web アドレス	http://				
	E-mail	@				
	FAX	()	-			
サイズ*	W (mm)					
	D (mm)					
	H (mm)					
重量 (kg) *						
前処理、後処理の必要性*		なし ・ あり (具体的に)				
付帯設備*		なし ・ あり (具体的に)				
実証対象機器寿命*						
コスト概算 イニシャルコスト費目例： 土木費、建設費、設備費用等 ランニングコスト費目例： 排水処理薬品、消耗品、汚泥・廃棄物処理費、電力使用料等	費目		単価	数量	計	
	イニシャルコスト					
	ランニングコスト(月間)					
	円 / 処理水量 1m ³					

4. 開発状況・納入実績*

もっとも近い番号に をつけてください。

1. 試作機は作成可能だが、製品化にはいたっていない。
2. 既に製品化しており、製品として出荷できる。
3. 納入実績がある。

具体的に

5. 技術の先進性について

技術の先進性、特許・実用新案等の申請・取得状況、論文発表、受賞歴等を記入してください。

6. 実証試験実施場所*

7. その他（特記すべき事項）

【本申請書に添付する書類】

技術・製品の技術仕様書

自社試験結果

実証試験実施場所所有者による、実証試験の許可文書

運転及び維持管理マニュアル